



# 糖尿病地域連携パスについて

説明用紙①



## 1. 糖尿病地域連携パスとは？

かかりつけ医と中東遠総合医療センターの糖尿病専門医師が、患者さまに関する情報を共有し、協力して診療や治療をおこなう体制のことです。

## 2. 地域連携パス開始後の受診について

\* 日々の診療は、かかりつけ医に受診し、お薬や血糖測定器具などの処方を受けます。

\* 半年～1年ごとに、中東遠総合医療センター糖尿病・内分泌内科に受診します。

受診予約1日目：食事を作る方と一緒に栄養指導を受けます

血液検査や糖尿病合併症に関わる検査などを受けます

受診予約2日目：医師の診察と検査結果の説明を受けます

※診療や治療内容によって、その後何回か受診を継続することもあります

## 3. 情報を共有する方法について

かかりつけ医と中東遠総合医療センター糖尿病・内分泌内科の双方で、患者さまの診療の情報を「紹介状（診療情報提供書）」という文書でやりとりします。

患者さまには「糖尿病連携手帳」をお渡しします。受診時実施した検査の結果を、双方の病院が記載することで、診察の状況がわかるようになります。そのため受診の際は「糖尿病連携手帳」と「お薬手帳」を一緒に忘れず持参してください。

## 4. パスの期間について

このパスは糖尿病の治療が必要な限り、続けることができます。

患者さまの希望で一時中断や中止することが可能です。

また病状が悪化した場合や、専門的な治療が必要になった場合などは、医師の判断でパスを一時中断、中止することもあります。

## 5. 身体の調子が悪いとき、血糖コントロールがうまくいかないときの対応について

まずはかかりつけ医にご相談ください。「紹介状（診療情報提供書）」を持参し、中東遠総合医療センター糖尿病・内分泌内科の受診を受けることができます。

ただし、急いで受診する必要があると判断する場合は、直接中東遠総合医療センターへ電話にてご相談ください。

### ★糖尿病地域連携パスについての問い合わせ先

中東遠総合医療センター 地域医療支援センター 0537(28)8021(直通)